

第4期医療費適正化計画 PDCA管理様式

1. 目標に関する評価

(1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
63.8%	R8公表見込み					
目標達成に 必要な数値	64.8%	65.9%	66.9%	67.9%	69.0%	70%以上
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 健やか山梨21推進会議・部会で、重点目標として取り上げ関係機関と取組や課題を共有。 ○ 特定健診・特定保健指導研修会を開催し、市町村の特定健診・特定保健指導に従事する者のスキルアップ支援を実施。 ○ 保険者協議会で小瀬スポーツ公園スタジアム内の大型ビジョンを活用したPR、フリーペーパーを使った広報宣伝、ピンクリボンフェスタへの協賛（特定健診・がん健診の普及啓発）、フリーで活用できるチラシの素材提供（特定健診、特定保健指導、がん検診関係：保険者協議会ホームページ掲載）、ラジオCMによる啓発を実施。また、特定健診・特定保健指導における保険者と医療機関との集合契約締結支援を実施。 ○ やまなし健康経営優良企業を認定し、企業での健康づくりを推進。					
	【課題】 ○ 保険者・市町村格差、未受診者や被扶養者への働きかけが必要。					
2025年度以降の改善について	○ 受診率向上に向けた勧奨や啓発など取り組みの推進を図る。					

② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
31.4%	R8公表見込み					
目標達成に 必要な数値	33.7%	35.9%	38.2%	40.5%	42.7%	45.0%
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 健やか山梨21推進会議・部会で、重点目標として取り上げ関係機関と取組や課題を共有。 ○ 特定健診・特定保健指導研修会を開催し、市町村の特定健診・特定保健指導に従事する者のスキルアップ支援を実施。 ○ 保険者協議会において、特定健診・特定保健指導における保険者と医療機関との集合契約締結支援を実施。 ○ やまなし健康経営優良企業を認定し、企業での健康づくりを推進。					
	【課題】 ○ 保険者・市町村格差、未受診者や被扶養者への働きかけが必要。					
2025年度以降の改善について	○ 受診率向上に向け、各医療保険者へ取り組み推進、会議の開催により課題の共有を図る。					

③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率に関する数値目標

2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
8.7%	R8公表見込み					
目標達成に 必要な数値	11.4%	14.1%	16.8%	19.6%	22.3%	25.0%
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 保険者協議会を開催し、関係機関と課題を共有。 ○ 健やか山梨21推進会議・部会で、重点目標として取り上げ関係機関と取組や課題を共有。 ○ 特定健診・特定保健指導研修会を開催し、市町村の特定健診・特定保健指導に従事する者のスキルアップ支援を実施。					
	【課題】 ○ 医療保険者、健診従事者のスキルアップ支援が必要。 ○ 肥満の割合が高く、運動習慣のある者の割合が低い働き世代への効果的な取組の検討が必要。					
2025年度以降の改善につ いて	○ 引き続き、会議の開催により課題の共有、実務者向けスキルアップを図る。 ○ 働き世代への生活習慣改善のため、引き続き会議で課題の共有や検討を図る。					

④ たばこ対策に関する目標

目標	成人の喫煙率の減少
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 世界禁煙デー、山梨禁煙週間による普及啓発。ポスター、チラシ入りポケットティッシュの配布、のぼり旗で啓発活動を実施。 ○ 県・保健所において、改正健康増進法の周知と義務違反施設等への対応。 ○ 禁煙支援従事者研修会を開催し、受講した薬剤師が所属する薬局を「禁煙サポート薬局」に認定。
	【課題】 ○ 改正健康増進法の周知（受動喫煙防止対策の強化）。
2025年度以降の改善につ いて	○ 引き続き、禁煙支援従事者研修会を開催し、禁煙サポート薬局の増加や実務者のスキルアップを図る。 ○ 受動喫煙防止に向けた啓発を強化する。

⑤ 生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標

目標	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数の減少
2024年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CKD予防推進対策協議会を開催し、これまでの取組の評価と今後の目標設定を行った。特に病診連携や減塩対策について協議。 ○ 病診連携医認定研修を対面で開催し、参加したかかりつけ医を病診連携医として認定。 ○ 県民への普及啓発活動として、やまなし減塩フェスタを開催。 ○ 保健医療関係者向けのCKDスキルアップ研修を開催。 ○ 糖尿病の重症化を予防するため、保険者の取組の基本的な考え方を示す「糖尿病重症化予防プログラム」を改定。 ○ 市町村（国保保険者）の担当者を対象に、eラーニング形式で糖尿病性腎症重症化予防従事者研修会を開催。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病診連携医数の減少、紹介する医師の固定化。 ○ CKD認知度の低迷 ○ 個々の保険者では、地域を越えたかかりつけ医との連携が困難
2025年度以降の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病診連携の促進や県民への普及啓発、保健医療関係者のスキルアップ支援を実施。 ○ 市町村や健診機関と連携し、受診勧奨の推進を図る。 ○ 糖尿病重症化予防プログラムを推進し、市町村（国保保険者）とかかりつけ医との連携を強化するための取組を実施。

⑥ 高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防の推進に関する目標

目標	フレイル状態を把握し、フレイル予防を実施する市町村数					
2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
22市町村	26市町村					
目標達成に必要な数値	23市町村	24市町村	25市町村	26市町村	27市町村	27市町村
2024年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後期高齢者医療広域連合と連携しつつ、市町村の状況把握に努め、把握した課題に応じて支援を実施している。 ○ フレイル状態把握は県内27市町村で実施している。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フレイル予防を目的とした通いの場は県内に多く整備されている一方で、住民の参加率の低さに加え、参加者が固定化している。 					
2025年度以降の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後は、要支援リスクの高い者へのハイリスクアプローチに加え、フレイル段階から元の生活機能の回復を図る仕組みの構築・推進に重点的に取り組む。 					

⑦ その他予防・健康づくりの推進に関する目標

目標	がん検診受診率 目標値60%以上	
(参考) 令和4年度	令和7年度	令和10年度
胃がん57.0%	R8公表見込み	
※過去2年の受診率	※過去2年の受診率	※過去2年の受診率
全国48.4%	R8公表見込み	
※過去2年の受診率	※過去2年の受診率	※過去2年の受診率
大腸がん55.4%	R8公表見込み	
全国45.9%	R8公表見込み	
肺がん62.9%	R8公表見込み	
全国49.7%	R8公表見込み	
乳がん60.1%	R8公表見込み	
全国47.4%	R8公表見込み	
子宮頸がん50.2%	R8公表見込み	
全国43.6%	R8公表見込み	

目標	がん検診精検受診率 目標値90%以上					
(参考) 令和2年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
胃がん78.9%	R8公表見込み			—	—	—
全国81.2%	R8公表見込み			—	—	—
大腸がん65.4%	R8公表見込み			—	—	—
全国71.4%	R8公表見込み			—	—	—
肺がん80.2%	R8公表見込み			—	—	—
全国83.4%	R8公表見込み			—	—	—
乳がん83.3%	R8公表見込み			—	—	—
全国90.1%	R8公表見込み			—	—	—
子宮頸がん73.0%	R8公表見込み			—	—	—
全国76.7%	R8公表見込み			—	—	—
2024年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 精密検査受診率が本県で最も低い子宮頸がん検診について、県産婦人科医会の協力のもと2021年度から市町村の検診運用を統一するシステムを開始。 ○ 胃がん・大腸がん検診についても、市町村の検診運用の統一システムを2024年度から開始。 ○ AYA世代の子宮頸がん検診受診率向上のため、イベントにおける普及啓発を実施。 ○ 国の指針に基づくがん検診の適正な実施と受診率向上を目的として、各市町村を個別に訪問し、検診体制の整備等について指導・助言を行った。 ○ 園児から親に対してがん検診の重要性を啓発するメッセージカードを贈る「子から親へのメッセージ事業」を実施。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 精密検査受診率が目標を達成できていない。残りの肺がん、乳がん検診についても、精密検査の受診結果を市町村が把握し、未受診者に対する受診勧奨を徹底する仕組みづくりが必要。 					
2025年度以降の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既に開始した子宮頸がん、胃がん、大腸がん検診の統一システムの運用状況について検証を行い、必要があれば改善していく。 					

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

① 後発医薬品及びバイオ後続品の使用促進に関する数値目標

a. 後発医薬品の使用促進に関する数値目標（上段：数量ベース／下段：金額ベース）※どちらか一方でも可

2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
79.6%	R8公表見込み					
58.6%	R8公表見込み					
目標達成に 必要な数値	77.3%	77.9%	78.4%	78.9%	79.5%	80.0%
	57.6%	59.2%	60.7%	62.1%	63.6%	65.0%
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ ソーシャルメディア (Youtube、Facebook、Instagram) を活用した普及啓発 ○ 新聞での啓発広告の掲載、市町村広報誌用の後発医薬品啓発原稿の提供 ○ ヴァンフォーレ甲府ホームゲームのオーロラビジョンによる動画放映 ○ 協会けんぽ山梨支部、関東信越厚生局山梨事務所との三者連名通知による、使用割合の低い医療機関、保険薬局への使用状況等の情報提供 などの取り組みを実施。					
	【課題】 ○ 最終目標達成に向け、引き続きの取り組みが必要。					
2025年度以降の改善について	○ 数量ベース、金額ベースの数値とも年々上昇しているため、引き続き取り組みを推進。					

b. バイオ後続品の使用促進に関する数値目標

2023年度 (計画の足下値)	第4期計画期間					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度 (目標値)
バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合： 成分数全体の29.4%	R8公表見込み					
目標達成に 必要な数値	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の36.1%	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の40.9%	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の45.6%	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の50.4%	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の55.2%	バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合：成分数全体の60%以上
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 県ホームページに目標値やバイオ後続品に関する情報を新たに掲載した。					
	【課題】 ○ 後発医薬品に比べ認知度が低いことから、最終目標達成に向け、引き続き取り組みが必要。					
2025年度以降の改善について	○ 普及啓発などの取り組みを強化。					

② 医薬品の適正使用の推進に関する目標

目標	かかりつけ薬剤師・薬局の定着
2024年度の 取組・課題	【取組】 ○ 薬と健康の週間中に開催した健康を守るくすり展において、パンフレット配布等により、県民へかかりつけ薬剤師・薬局についての理解、積極的な利用について普及啓発を実施。 ○ 薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師会と連携し、薬局等勤務薬剤師に係る研修会を実施。
	【課題】 ○ 今後、地域医療における薬剤師の役割がますます大きくなることが想定されるため、引き続き取り組みが必要。
2025年度以降の改善について	○ 県薬剤師会と連携し、薬剤師の資質向上、県民への普及啓発等の取り組みを強化。

３．医療費の実績に関する評価

2023年度 (計画の足元値)	2024年度
約3,005億円	R8公表見込み
医療費適正化に係る取組を行わない場合の推計医療費	約2,728億円
医療費適正化に係る取組を行った場合の推計医療費	約2,691億円